

ちや〜も〜くっ 公共施設!

5分で読める
公共施設のこと

問い合わせ
企画政策課 内線224



公共施設マネジメントシリーズ

No.10 「岡崎市の事例」「良くなった点」「統廃合と時間」のお話

5月号のNo.8で、三重県松阪市の中学校と公民館を複合化した例を紹介しましたが、今回は、同じ敷地内に、いくつも建っていた建物を複合化した岡崎市の事例を紹介します。



広報ひがしうら5月号
シリーズNo.8

01 敷地内にある様々な建物を複合

岡崎市は額田町と合併し、額田支所を岡崎市役所支所として活用していました。

しかし、
こんな
課題が

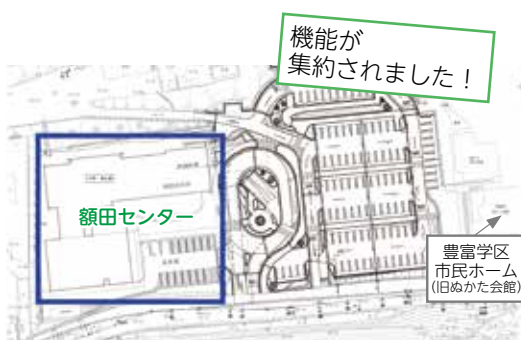
- ・他地域と比較して施設の数が多く、利用状況のわりに、施設規模が大きすぎる。
- ・施設は隣接しているが、入口や駐車場がバラバラで利用しづらい。
- ・施設の老朽化が進んでいた。



そこで、額田支所と合わせて隣接した建物を複合化した「額田センター」を建築しました。



整備前



整備後(額田センター)



施設名	延床面積
旧額田支所(未利用)	1,362.74㎡
額田支所	784.72㎡
額田図書館	562.35㎡
森の総合駅(案内所)	505.42㎡
ぬかた会館	718.16㎡
延床面積合計	3,933.39㎡

複合化

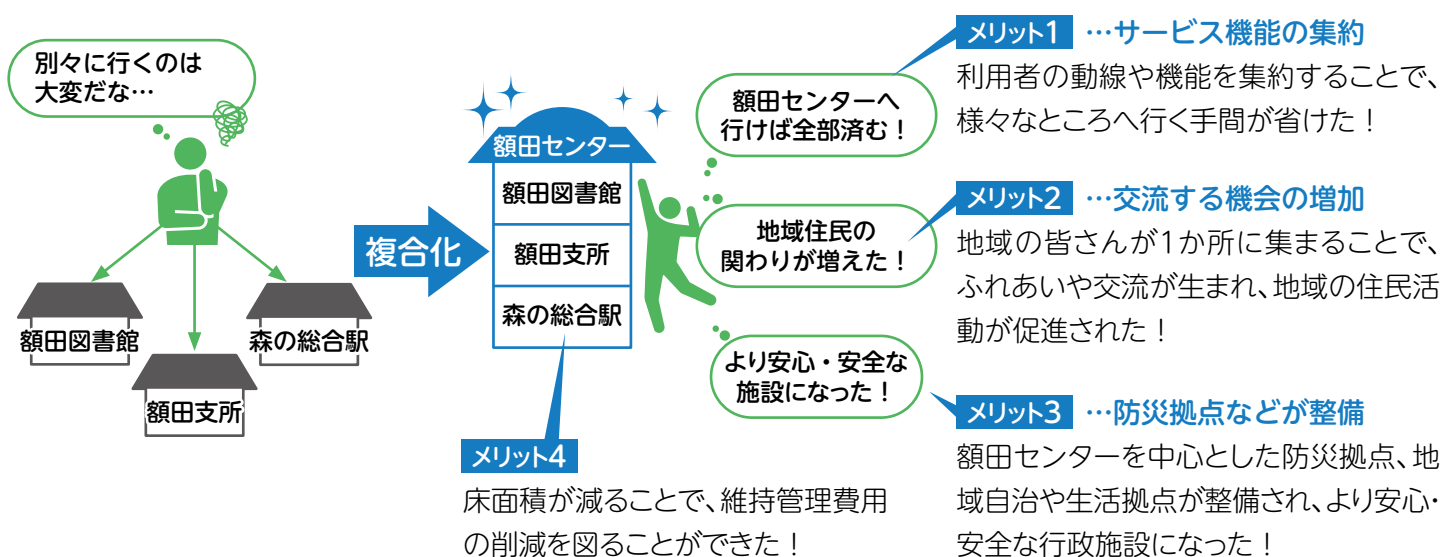
施設名	延床面積
解体	
解体	
解体	
解体	
転用	
額田センター	1,975.77㎡

- ・行政関係(支所など)
 - ・市民交流(集会室など)
 - ・社会教育機能(図書館など)
 - ・地域防災拠点機能(防災倉庫など)
- これらの機能が集約されました!



なんと…約50%の延床面積を削減することに成功しています!

02 どんなところが良くなったの？



統廃合や複合化を考えると、その施設で行っているサービスの提供はどこに移すか、どの機能やサービスを組み合わせるかという視点で検討する必要があります。

考えてみよう！

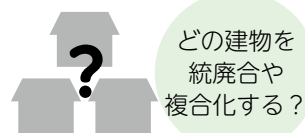
施設サービスの提供はどこで行われることが合理的で安心・安全なのか？

どの機能やサービスを組み合わせることで、住民同士の交流や地域の活性化につながるのか？



03 統廃合と時間

建物の老朽化が進むなか、素早く統廃合などを検討することも必要です。しかし、単純に新築するだけとは違い、老朽化した施設にある機能・サービスの質を適正なレベルに設定しつつ、どの建物を統廃合や複合化するかを検討する必要があります。



施設を統廃合するまで

●岡崎市額田センター

「岡崎市額田支所周辺施設整備基本計画」の策定を含め、複合化するまでに約5年以上かかっています。

●三重県松阪市鎌田中学校

住民の皆さんと合意形成を図りながら、「基本構想及び基本計画」を策定し、最終的に建物を完成させるのに、約10年かかっています。

●東浦町では…

公共施設再配置検討プロジェクトチームを発足しました！再配置計画の策定に向けて、公共施設に関係する職員で再配置の素案を検討し、計画策定の材料の1つとします。



施設マネジメント キーポイント①

施設の統廃合や複合化にあたり、利用者の交流やサービスレベル、共有する施設の運営方法について検討する必要があります。

施設マネジメント キーポイント②

合意形成には、思った以上に時間がかかる場合があります。みんなで考えながら進めましょう。